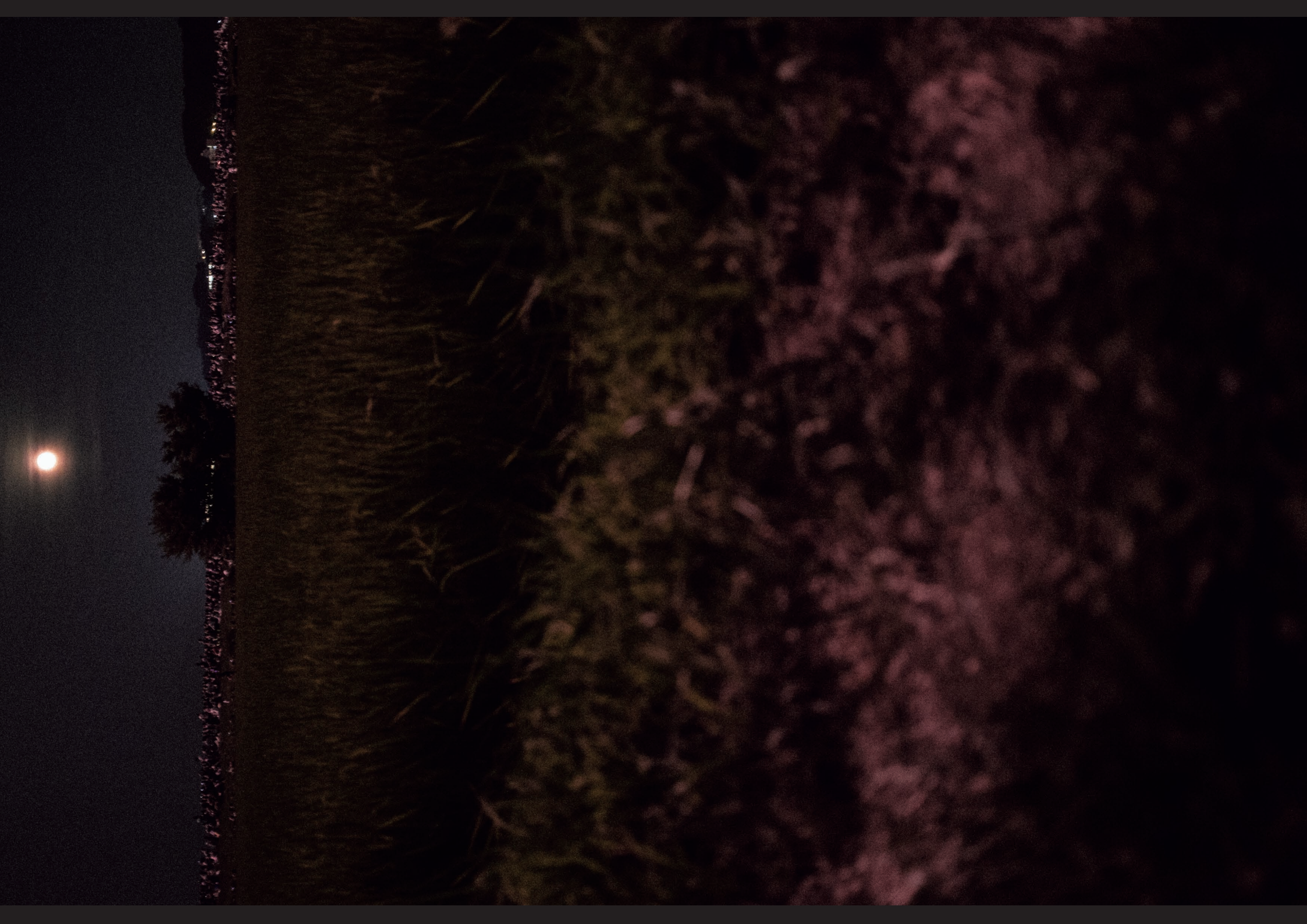






2015年度 RPS企画展

木村肇 写真展「In search of lost memories」

自分は人間が亡くなったという事実をどこか見て見ぬ振りをして生きてきた様な気がする。
何の変哲もない、しかしながら必ずや自身の、もしくは自身の周りに立ち現れるこの事象を人はどういうプロセスを経て受け入れていくのか。
決して光の当たらない、誰ひとり見ることの出来ない記憶の底に重たく層を成して存在する、作り込まれた記憶。
自分が何年もかけて作画的に生み出したそれらの層を小さな爪の先で剥がしていく作業は、
即ちその何倍も上塗りされてゆく、「新たに作られた記憶」が同時に発生してしまう事に気付いたのだ。

「僕は母が亡くなった事実を理解しようとしなかった。
だが、それ以降、父の日常の姿を見る度に胸の奥がザワザワするようになった。僕は母が亡くなったのだとその感情を以って理解した」

自分が意識的に忘れようとした記憶や、それに覆いかぶさる様に存在する、もう一つの記憶が僕に示すものは何なのか。
自身の曖昧な記憶を曖昧さを以って受け入れていく工程。もしかするとその工程の中に身を置く事にこそ、意味があるのかも知れない。

In search of lost memories

本企画展では作家による手製本が
33 部制作されました。
すでにご予約は終了しましたが、
展示会場にて実物
をご覧頂けます。

[http://reminders-project.org/rps/
insearchoflostmemoriesalejp/](http://reminders-project.org/rps/insearchoflostmemoriesalejp/)



● 写真家プロフィール

1982 年、千葉県生まれ。2007 年よりフリーランスとして活動を始める。
2012 年、アムステルダムで開催された世界報道写真財団 Joopswart master class に選出される。

主な賞に Vattenfall photo prize (ドイツ)、コニカミノルタフォトプレミオ特別賞、Arte Laguna prize (イタリア)、Kassel photobook dummy award (ドイツ)、Singapor photobook award (シンガポール)。

主な展示に「KODAMA」(Reminders photography stronghold, 2012 東京), 「Man and dog」(C/O Berlin, 2012 ドイツ), 「Tracks」(Dervy university, 2013 イギリス・Venice Arcenale, 2014 イタリア・清里フォトミュージアム, 2015), 「Cycles」(Russian Marble palace, 2014 ロシア), 「Path in between」(China house, 2014 マレーシア)

主な出版物に「KODAMA」(窓社, 2012, 東京), 「Scrapbook」(Verlag Kettler, 2015, ドイツ)
主なクライアントに TIME, The New York Times, CNN, Newsweek, Le Monde Magazine, Courrier international

● 会期 2015 年 11 月 3 日 (火・祝日) → 11 月 29 日 (日)
午後 1 時～午後 7 時 (会期中無休)

RPS3 周年記念となります。
初日午後 4 時からオープニング、アーティストトーク。
また 3 周年記念のパーティを同時開催させて頂きます。

● 会場 Reminders Photography Stronghold ギャラリー
東京都墨田区東向島 2-38-5

半蔵門線 (曳舟駅)・浅草線 (京成曳舟駅)
いずれからもお越しになれます。

アクセスマップはこちらをご確認ください。
<http://reminders-project/rps/map>

< 入場料無料 >

写真展の情報、期間中に決定していくイベント等は
随時フェイスブックページでもご確認下さい。
<https://www.facebook.com/events/1045251272154155/>